

# 野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第1号

調査日 平成31年4月10日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:30圃場巡回(軟弱、ほうれんそう、にら、トマト、たまねぎ等)

発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	キスジノミハムシ	中	増	スタークル顆粒水溶剤	100~300g /10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	多	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
にら	アザミウマ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
トマト	ハモグリバエ類	中	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫前日まで	5回以内
たまねぎ	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

## ☆害虫の発生が増えています☆

・こまつな、みずなでキスジノミハムシの食害が確認されました。葉に点々と穴をあけるように食害する特徴があります。気温上昇に伴い、生育期間が短くなるため早めの防除を心がけましょう。

・ハウレンソウケナガコナダニの発生が確認されました。新芽に寄生し、食害を受けると葉に小さな突起や穴が生じ、光沢を帯びた奇形となります。ひどい場合は芯止まりになります。こまめに観察し、早めの防除を心掛けて下さい。

雑草対策におすすめです！

## バスタ液剤・ザクサ液剤

- ・すばやく枯らす
- ・畦畔など土が崩れにくい

といった特長があります！

圃場周辺の雑草を減らすことで、圃場内の病害虫のすみかが減り、効率の良い薬剤防除につながります。

5月31日までキャンペーン中です！



# 野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第2号

調査日 平成31年4月24日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:35圃場巡回(軟弱、トマト、にら、いちご、レタス、たまねぎ等)

発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
トマト	ハモグリバエ類	少	並	プレバソフロアブル5	100~300ℓ /10a	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
いちご	ハダニ類	多	増	ニッソラン水和剤		2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内
レタス	アブラムシ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤		2000~3000倍	収穫3日前まで	2回以内
たまねぎ	アザミウマ類	多	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	白色疫病	中	増	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内
こまつな	アブラムシ	少	増	スタークル顆粒水溶剤		3000倍	収穫3日前まで	2回以内

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

## ☆アブラムシに注意しましょう☆

レタスやこまつなでアブラムシの発生が確認されました。新芽や葉の裏側など様々な部位に数十から数百匹の集団をつくって寄生します。植物の汁を吸って生育を阻害し、すす病を発生させたり、モザイク病を媒介する害虫です。薬剤防除だけでなく、風通しを良くし、周辺の雑草除去を徹底しましょう。

平年と同様に晴れの日が多く、気温がかなり高くなると予報されています。

しっかりと水分補給を行い、体調を崩さないよう気を付けて作業を行ってください！



## JAからのお知らせ

雑草対策にバスタ液剤・ザクサ液剤がおすすめです！5月31日までキャンペーン中です。詳しくは最寄りの支店営農相談員へご相談ください。

# 野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第3号

調査日 令和元年 5月 8日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:37圃場巡回(軟弱、トマト、レタス、にら、たまねぎ、スイートコーン等)

## 発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
こまつな	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100~300ℓ /10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
レタス	アブラムシ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
にら	アザミウマ類	甚	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
たまねぎ	アザミウマ類	甚	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	べと病	中	増	リドミルゴールドMZ※		1000倍	収穫7日前まで	3回以内
スイートコーン	アブラムシ類	多	増	アディオン乳剤		3000倍	収穫14日前まで	4回以内

※マンセブを含む農薬(ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールド MZ 等)の総使用回数は5回以内。

### アブラムシ・アザミウマ類の発生が多くなっています

全体的にアブラムシ、アザミウマ類の発生が多く確認されました。気温上昇に伴い、発生が増加すると予想されるので十分に注意し、早期の防除を行いましょ。

### たまねぎのべと病の防除をしましょう

べと病菌は圃場に長く生き残り、土中の卵胞子が秋に苗へ感染し、定植後に越年罹病株となります。春に越年罹病株から分生胞子が発生し、感染を繰り返すため今の時期の薬剤防除が大切です。風のない時期に薬剤が全体に付着するように丁寧な散布を行いましょ。



### JAからのお知らせ

雑草対策にバスタ液剤・ザクサ液剤がおすすめです！5月31日までキャンペーン中です。詳しくは最寄りの支店営農相談員へご相談ください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。  
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょ。